専 門 実 践 教 育 訓 練 明 示 書（衛生看護学院）

講座の名称	看 護 科					
実施方法	① 通学（昼間）・ 夜間 ・ 土日 ） ② 通信 スクーリング（回数 回）					
指定講座番号（15桁）	0512007	—	2620031	—	6	
講座の創設年月日 令和8年10月1日	専門実践教育訓練給付金対象講座の指定期間 令和11年9月30日まで	過去一年の講座実績	入講者数（ 人）		修了者数 （ 人）	
訓練期間	36ヶ月		総訓練時間		3065 時間	

1. 教育訓練目標

①取得目標とする資格の名称、目標レベル	■ 業務独占資格・名称独占資格（ 看護師 ） □ 職業実践専門課程 （ ） □ キャリア形成促進プログラム （ ） □ 専門職大学院 （ ） □ 職業実践力育成プログラム （ ） □ 情報通信技術関係資格 （ ） □ 第四次産業革命スキル習得講座 （ ） □ 専門職大学、専門職短期大学、専門職学科 （ ） 教育訓練を通じて取得を目指す上記以外の資格等
②①に係る資格・試験等の実施機関名称	厚生労働省
③当該資格等を取得するための要件または受験資格等	本校に3年以上在籍し卒業単位を満たした上で卒業を認定されること
④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されておいる業界と活用状況	医療・介護・福祉部門等

2. 教育訓練の内容

教科 （カリキュラム）	時間	使用教材名
別紙	別紙	シラバスを参照

3. 受講者となるための要件（この講座を受講するために必要とされている条件など）

①受講するに当たって必要な実務経験等	
②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準	高等学校、中等教育学校を卒業した者又は同等以上の学力あると認められる者
③その他	

〔特記事項〕

専 門 実 践 教 育 訓 練 明 示 書（衛生看護学院）

4. 教育訓練の受講の実績及び目標達成の状況　　※9年度からの実施のため実績なし

(1)資格取得状況

① 前年度の修了者数	人			
② ①に係る教育訓練の入講者数	人			
③ ②のうち目標資格の受験者数	人	受験率(③/②)		%
④ ③のうち合格者数	人	合格率(④/③)		%
⑤ ①(修了者数)のうち就職者数 ※1	人			
⑥ ①(修了者数)のうち在職者数 ※2	人	就職・在職率(⑤+⑥/②)		%

※1 前年度の修了者のうち、受講開始時に職に就いていなかった者で修了後に就職した者。
この場合、就職したとは、臨時的な仕事に就職した者は含めない。

※2 受講開始時に既に職に就いていた者で、卒業後も引き続きその職にある者及び受講開始時に既に職に就いている者で、修了後に別の職に転職した者。

(2)受講修了者による講座の評価等

① 回答者総数		人	
② 受講開始時の就業状況等	1 正社員	人	②A:就業者計
	2 非正社員、派遣社員	人	
	3 その他の就業(自営業等)	人	
	4 非就業	人	②B:非就業者計
③ 受講開始前と現在の就業先の変化	1 受講開始時の就業先と現在の就業先は同じ	人	③の回答数合計 ※②Aと同数(又はそれ以下)
	2 受講開始時の就業先と現在の就業先(自営業等含む)は異なる(転職)	人	
	3 受講開始時は就業していたが、現在は就業していない	人	
④ 受講後の就業形態	1 正社員	人	④A:就業者計
	2 非正社員、派遣社員	人	
	3 その他の就業(自営業等)	人	
	4 非就業者	人	④B:非就業者計
⑤ 受講後の賃金変化	1 3割以上増加した	人	⑤の回答数合計 ※④Aと同数(又はそれ以下)
	2 1割以上3割未満増加した	人	
	3 1割未満増加した	人	
	4 変わらない	人	
	5 1割未満減少した	人	
	6 1割以上3割未満減少した	人	
	7 3割以上減少した	人	
⑥ 講座の受講の効果	1 処遇の向上(昇進、昇格、資格手当等)に役立つ	人	⑥の回答数合計
	2 配置転換等により希望の業務に従事できる	人	
	3 社内外の評価が高まる	人	
	4 早期に転職・再就職できる	人	
	5 希望の職種・業界に転職・再就職できる	人	
	6 より良い条件(賃金等)で転職・再就職できる	人	
	7 趣味・教養に役立つ	人	
	8 その他の効果	人	
	9 特に効果はない	人	
⑦ 受講開始時に就業していなかった受講者の就業状況	1 受講中又は受講修了後3か月以内に就職した	人	⑦の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)
	2 受講修了後3～6か月以内に就職した	人	
	3 受講修了後6～12か月以内に就職した	人	
	4 就職していない	人	
⑧ 講座の全体評価	1 大変満足	人	⑧の回答数合計 ※①と同数(又はそれ以下)
	2 おおむね満足	人	
	3 どちらとも言えない	人	
	4 やや不満	人	
	5 大いに不満	人	

(3)受講者、受給者の修了後の状況(就職等の状況、受講修了者による教育訓練への評価状況、受講後の職務内容変化等の処遇改善の状況、一定期間内でのキャリアアップ成果やその事例、在籍・採用企業の側の評価 等)

5. 教育訓練の受講による効果の把握及び測定の方法並びにそのレベルを受講者に対して明らかにするための具体的な方法

1に掲げた教育訓練目標に対する技能・知識のレベル到達度の把握・測定方法	国家試験の結果
(通信制講座の場合) スクーリングの実施場所、時期、期間・回数	

専 門 実 践 教 育 訓 練 明 示 書 （衛生看護学院）

6. 受講効果の把握方法	
(1)受講認定基準 (6ヶ月ごとの出席率・定期試験、進級試験等の具体的基準)	出席率66%(2/3)以上、試験合格率得点率60%以上で合格、補講・追試は認める
(2)受講認定基準に係る、教育目標に対する技能・知識のレベル到達度把握・測定方法	ペーパーテスト、演習および課題提出
(3)修了認定基準 (出席率・修了認定試験等の具体的な基準)	出席率66%(2/3)以上、試験合格率得点率60%以上で合格、補講・追試は認める
(4)修了認定基準に係る、教育目標に対する技能・知識のレベル到達度把握・測定方法	卒業単位を満たし卒業試験合格

7. 受講中又は修了後における受講者に対する指導及び助言並びに支援の方法	
(1)受講中の者に対する習得度・理解度に関する具体的な助言・指導の方法	個別面談や成績管理、技術演習等による学修状況の把握と適宜個別指導の実施
(2)受講中又は修了時における資格取得・就職への具体的なバックアップ体制 (例:資格取得関連情報や資格関連職種の求人情報の提供方法、早期就職に向けた具体的な相談体制の整備状況)	・資格試験受験のための補講の実施と個別の学修指導 ・就職情報の提供、意思決定までの相談、必要書類や履歴書等の添削、指導

8. その他の事項

指定教育訓練実施者名及び代表者名	秋田県	（代表者名:知事　鈴木　健太　）
住所及び連絡先	〒010-8570　秋田市山王四丁目1－1	TEL 018-860-1111
施設名称及び施設長名	秋田県立衛生看護学院	（学院長:　新号　和政　）
住所及び連絡先	〒013-0037　秋田県横手市前郷二番町10番2号	TEL 0182-23-5011

苦情受付者	氏名　杉山　司　所属　総務チーム	事務担当者	氏名　杉山　司　所属　総務チーム
連絡先	TEL　0182-23-5011	連絡先	TEL　0182-23-5011

専門実践教育訓練経費			
支払い方法 ①一括払 ②分割払 ③両方可能	1. 専門実践教育訓練給付金の対象となる経費 （① ＋ ②）	701,554	円
	① 入学料（税込額） （※割引・還元措置を実施した場合には その差引き後の税込額とすること。）	6,650	円
	② 受講料（税込額） （※割引・還元措置を実施した場合には その差引き後の税込額とすること。）		円
		第1期　274,346	円
		第2期　65,400	円
		第3期　144,652	円
		第4期　65,400	円
		第5期　79,706	円
		第6期　65,400	円
		（うち、必須教材費　226,204	円）
	2. 専門実践教育訓練給付金の対象外となる経費 （① ＋ ② ＋ ③ ＋ ④）	201,800	円
	①　任意の教材費(税込額)		円
	②　実習等に伴う交通費・宿泊費(税込額)		円
	③　施設維持費(税込額)		円
	④　その他(法人への寄付金、PCの損害保険料、情報誌代）（税込額）	201,800	円
	3. 総額 （1＋2）（税込額）	903,354	円

看護科　教育訓練の内容

分野	教育内容	授業科目	単位数	時間数
基礎分野	科学的思考の基盤	哲学	1	30
		教育学	1	20
		情報科学論	1	30
		情報リテラシー	1	30
		情報統計学	1	30
		心理学	1	30
		文学	1	15
		論理学	1	20
	人間と生活・社会の理解	社会学	1	30
		文化人類学	1	15
		人間関係論	1	15
		家族援助論	1	20
		異文化コミュニケーション	1	15
		英会話	1	15
		ビジュアル・コミュニケーション	1	15
	小計	15科目	15	330
専門基礎分野	人体の構造と機能	生物学	1	15
		人体の構造	2	60
		人体の機能	2	60
		看護形態機能論	1	20
	疾病の成り立ちと回復の促進	臨床栄養学	1	30
		感染免疫学	1	30
		病理学	1	30
		臨床病態学Ⅰ	2	60
		臨床病態学Ⅱ	2	60
		臨床病態学Ⅲ	1	30
		臨床薬理学	1	30
		対人援助論	1	15
	健康支援と社会保障制度	健康科学論	1	15
		健康援助論	1	15
		公衆衛生学	1	15
		社会福祉・社会保障	1	15
		関係法規	1	15
		保健医療論	1	15
	小計	18科目	22	530
専門分野	基礎看護学	基礎看護学概論	1	30
		共通看護技術Ⅰ	1	30
		共通看護技術Ⅱ	1	30
		生活援助技術	1	30
		臨床看護技術	1	20
		診療援助技術	1	30
		ヘルスアセスメント	1	30
		看護アセスメント論Ⅰ	1	30
		看護アセスメント論Ⅱ	1	30
		看護研究	1	15
		総合看護技術演習	1	30
	地域・在宅看護論	地域・在宅看護概論Ⅰ	1	15
		地域・在宅看護概論Ⅱ	1	30
		地域・在宅看護概論Ⅲ	1	15
		地域・在宅看護援助論Ⅰ	1	30
		地域・在宅看護援助論Ⅱ	1	15
		地域・在宅看護援助論Ⅲ	1	15
		地域・在宅看護技術	1	30
	健康状態別看護	経過別看護Ⅰ	1	20
		経過別看護Ⅱ	1	20

分野	教育内容	授業科目	単位数	時間数
専門分野	成人看護学	成人看護学概論	1	15
		成人看護学援助論Ⅰ	1	30
		成人看護学援助論Ⅱ	1	30
		成人看護学援助論Ⅲ	1	15
		成人看護学援助論Ⅳ	1	15
		成人看護技術	1	30
	老年看護学	老年看護学概論	1	15
		老年看護学援助論	1	30
		老年看護技術	1	30
	小児看護学	小児看護学概論	1	15
		小児看護学援助論Ⅰ	1	30
		小児看護学援助論Ⅱ	1	30
		小児看護技術	1	30
	母性看護学	母性看護学概論	1	15
		母性看護学援助論Ⅰ	1	30
		母性看護学援助論Ⅱ	1	30
		母性看護技術	1	30
	精神看護学	精神看護学概論	1	15
		精神看護学援助論Ⅰ	1	30
		精神看護学援助論Ⅱ	1	30
		精神看護技術	1	30
	看護の統合と実践	医療安全Ⅰ	1	30
		医療安全Ⅱ	1	15
		災害・国際看護論	1	30
		看護実践マネジメント	1	30
		実践看護技術	1	30
		看護倫理	1	15
	小計	47科目	47	1170
	臨地実習			
	地域・在宅看護論実習		2	90
	基礎看護学実習Ⅰ		1	45
	基礎看護学実習Ⅱ		2	90
	成人・老年看護学実習Ⅰ		3	135
	成人・老年看護学実習Ⅱ		2	90
	成人・老年看護学実習Ⅲ		2	90
	成人・老年看護学実習Ⅳ		2	90
	成人・老年看護学実習Ⅴ		1	45
	小児看護学実習		2	90
	母性看護学実習		2	90
	精神看護学実習		2	90
	看護の統合と実践		2	90
	小計	12科目	23	1035
総合計			107	3065